



ヤングアダルト

YA本研究会だより 2019.12Vol.4



■ 早くも年末の特集をくむ季節となりました！

ブックカフェも終わり、寒くなるとどうもお休みの連絡がふえるのですが、今年はしっかり本を選んでくれました。でもねえ、ビブリオバトルのチャンズ本、1冊に絞りきれず、票がわれる。それが目下の悩みです。みんなが同じTV番組の話題で盛り上がるような時代はとうに過ぎ、興味も多種多様。お気に入りのコミック本を紹介するときは、小説の時より数段ちからが入ります。話しているうちに入り込み、あわやホラー???ということも。共通するのは、ファンタジーが好き、コミックが好きという流れでしょうか。そうそう、せつない恋の話もね。

さて、クリスマスバージョンの千ロルチョコを分けながら紹介されたのは、こんな本…。

《 読み物 編 》

「虚構推理」 「注文をまちがえる料理店」 「神様の御用人」

「君は月夜に光り輝く」 「そして生活はつづく」

「ほくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

《 マンガ・ビジュアル 編 》

「テスマー千からはじまる異世界狂想曲」 「金色のガッシュ」

「ミギとダリ」 「宝石の国」 「ニセコイ」 「お仕事ナビ⑩」



■ チャンズ本



「僕はロボットごしの君に恋をする」 山田 悠介/著

河出書房新社 2017年10月 ¥1100 (YFヤ) 所蔵:二丈館

(内容)

2060年東京。人型ロボットを使った国家的プロジェクトが進む中、プロジェクトメンバーの健が想いを寄せる味の勤務先にテロ予告が届く。目的を達するために、暴走する研究者の狂気。健はテロを防ぎ、味を守るのか。

(おすすめポイント)

オリンピック開催をひかえた東京が舞台。今と重なる。平易な文体で、山田悠介の小説を読んだことない人、普段小説を読まない人にも読みやすい。そして、ネタバレするので語りませんがとにかくラストに驚愕。ロボットごしの恋ですよ。まあ読んでみてください。



■ 司書Iのつ・ぶ・や・き

YA委員会のみなさんが少し緊張？しながらも、楽しそうにいきいきと紹介される本は、どれも面白そうで投票に悩みました。

もちろん私も緊張しました！（笑）

遥か昔の学生時代のことを思い出しながら、読書の楽しさ、それを自分の言葉で人に伝えることの難しさを考えるいい機会になりました。



■ YA新着本 貸出中の本は予約もできますよ！



「レギュラーになれないきみへ」
元永 知宏 / 著
岩波ジュニア新書 2019.10
本館 Y783モ



「学園キ/⑥」
時雨沢 憲一 / 著
KADOKAWA 2019.10
本館 YBFシ



次回の展示テーマは、「冒険しよう」



See you next battle!!

